

水源

いつまでも
良質な水道水を
送り届けます



水源

水源を
分散化します



豊平川水道水源水質保全事業の取組

より安全で良質な水道水を将来にわたり安定してお届けするため、札幌市の水道水源の約98%をまかなう豊平川においてバイパスシステムを構築する「豊平川水道水源水質保全事業」を実施しています。

事業の目的

● 通常時の水質保全対策

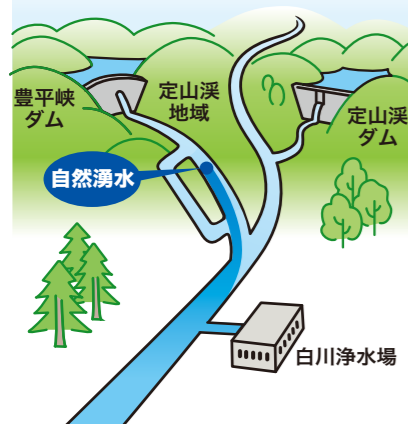
自然湧水に含まれる有害物質の影響を低減します。

● 事故・災害時における浄水処理継続

一時的に水の流れを切り替えてきれいな水を浄水場に取り込みます。

事業実施前 (現在の水の流れ)

自然湧水を含んだ川の水を浄水処理しています。しかし、この自然湧水に含まれるヒ素、ホウ素などではできるだけ少なくする必要があります。

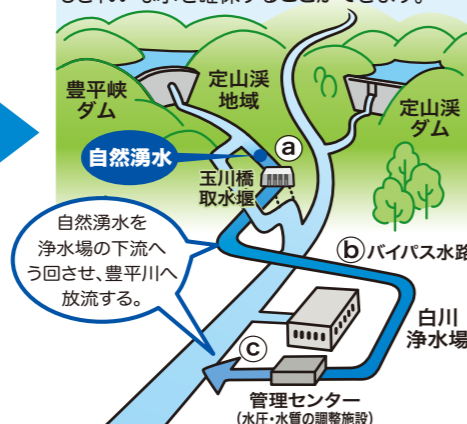


事業実施後

通常時の水の流れ

より安全で安心な水質を守る

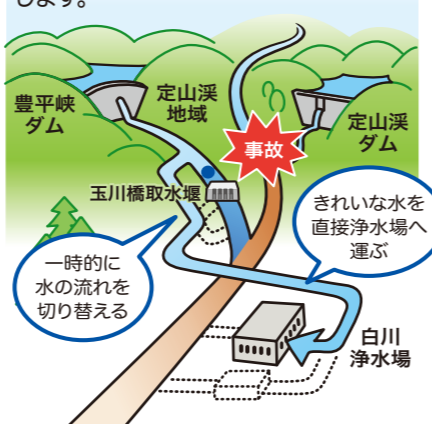
①地点から豊平川上流の自然湧水や下水処理水などを②のバイパス水路により回させ、浄水場取水地点より下流の③地点で豊平川に放流します。これにより、浄水場ではいつもきれいな水を確保することができます。



事故・災害時の水の流れ

水質汚染時にも良質な水源を確保する

事故・災害による水質汚染時には、豊平川上流のきれいな水をバイパス水路を通して直接浄水場まで運び、断水を回避します。



事業の進捗状況

令和5(2023)年度までに、玉川橋取水堰やバイパス水路などの整備が完了しました。
令和6(2024)年度は引き続き管理センターなどの整備を行います。
令和7(2025)年度に通常時の水質保全対策に必要な施設の整備が完了し、令和8(2026)年度には事故・災害時に浄水場へ水を運ぶための管路を整備する予定です。

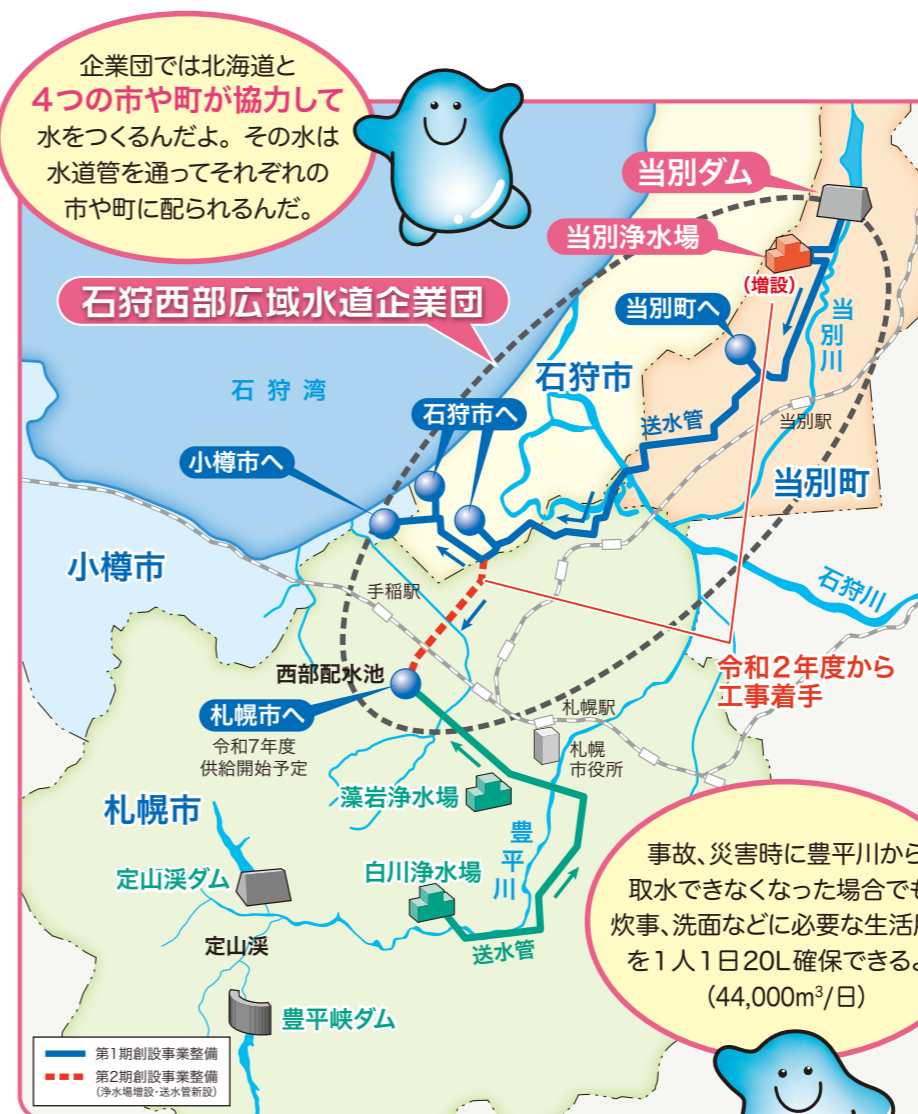


- ①玉川橋取水堰
川の水をせき止め、バイパス水路に取り入れるための施設
- ②バイパス水路
取り入れた水を浄水場の取水地点より下流へ回させるための全長約10km、口径約2mの水路
- ③管理センター(放流調整池)
豊平川へ放流する前に、バイパス水路により回させた水の水圧・水質を調整する施設

石狩西部広域水道企業団(当別ダム)への参画

札幌市は、豊平川に集中している現在の水源以外にも安定した水源を確保するため、北海道、小樽市、石狩市、当別町とともに、平成4(1992)年より石狩西部広域水道企業団に参画しています。

札幌市が石狩西部広域水道企業団から受水することにより、東日本大震災や近年の大雨による水道施設への被害状況により改めて重要性が認識された水源の分散化や西部配水池への送水ルート⁽²⁾の二重化が図られるとともに、今後予定している白川浄水場の大規模改修において活用することができます。



企業団では北海道と4つの市や町が協力して水をつくるんだよ。その水は水道管を通してそれぞれの市や町に配られるんだ。

当別ダム



洪水調節、流水維持、かんがい用水、水道用水の確保を目的とする多目的のダムで、平成24(2012)年に完成しました。

当別浄水場



浄水処理方式は、凝集沈でん+粒状活性炭+急速ろ過を採用し、平成24(2012)年に完成しました。平成25(2013)年4月から、小樽市、石狩市、当別町へ供給しています。札幌市への供給は令和7(2025)年度から開始する予定です。

事故、災害時に豊平川から取水できなくなった場合でも、炊事、洗面などに必要な生活用水を1人1日20L確保できるよ。(44,000m³/日)

